

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.192

2015/11/17

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会



今年度はユキバツバキの本格的な調査のための調査区設置と標識付けを精力的に行っています。調査区内では、10m 間隔のメッシュを虎ロープで設置し、急斜面が多いため積雪期のロープのずれを防止する留め金（番線）を細かく打ち込んでいます。個々のメッシュ（調査区）には標識を付け、調査区内のユキバツバキには 1 株ずつ標識タグを付ける作業を進めています。調査区のロープ設置がほぼ終了し、続いてロープ留



急傾斜地でのロープ設置は難航(15/10/30)



三角点付近のロープ設置(11/4)



標識設置(10/03)



一株ずつにタグ付け

め・標識付け・タグ付け作業を進めています。調査区全域でタグは約 1 万株に付ける必要がありますが、現在 1,000 株に付け終わった段階で積雪までにどれだけ付けられるかが課題です。これは作業量ばかりで無くタグの経費（全体で 120 万円）も大きな問題になっています。しかしこのような大規模な調査は他でも実施されていないと思われますので何とかやりきりたいものです。もちろん春からの調査本番はもっと大変なことです。

取を行いました。続いて階段補修もほぼ完了しました。同時に付属湿地の除草・育種の植え替え・ミヤコアザミ保護区の除草・刈り込みも完了しました。また毎日の湿原に設置している防獣ネットの巡視も続けていますが、今年はネット内にシカが進入する回数は極度に減少し湿原内の稀少種も護れています。

9 月から実施してきた観察コース沿いの朽ちた木柵を撤去し、腐食が進んでいない木柵材と虎ロープで危険箇所とコース誘導ができるように回



木柵改修完了(10/9)



観察コース階段改修(10/10)



山門老人会刈り払い・除草(11/06)



湿原際の刈り払い

山門老人会の皆さんが今年も8時過ぎから湿原脇・旧進入路脇の刈り払いと県道沿いの外来種除草作業にご協力頂きました。手際よい作業で美しく蘇



旧進入路脇の刈り払い



県道脇の外来種除去

らせてもらいました。作業後は楽舎で最近の森の様子を会員が報告しました。

この日はレイカディア大学 32 期生の皆さんが春に続いて食害防止テープ巻きに来て頂き長時間作業をしてもらいました。大勢の皆さんの作業で、会員が



刈り払いでスッキリした湿原際



レイカディア大学32期生のテープ巻き

日々行っている作業の数日分をアツという間に仕上げてもらいたいありがたいことです。

### 西浅井中2年生今年は10,000粒播種



11/10 西浅井中学 2 年生諸君が 2 班に分かれてササユリの播種に来てくれました。今年は、昨年の 2 倍の 10,000 粒を播種してくれました。もちろん播種地点は、種子を採取した場所周辺に開花時の花の向きを考え、更にシカの食害を防止するためのネット設置位置も考えての播種です。

11/15・11/16 シカの生息数を推定するための糞粒調査を実施しました。110 区画 (1m 四方) の調査が完了しました。春の調査より糞粒数は減少しています。



採取したある区画の糞粒